



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月5日

上場会社名 株式会社 亅番屋

上場取引所 東 名

コード番号 7630 URL <https://www.ichibanya.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 葛原 守

問合せ先責任者 （役職名） 経営企画室長 （氏名） 林 賢治 TEL (0586) 81 - 0792

半期報告書提出予定日 2026年10月14日

配当支払開始予定日 2026年11月13日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	35,227	10.0	2,091	△17.2	2,191	△19.1	1,095	△20.9
2026年2月期中間期	32,018	8.2	2,526	5.5	2,708	8.9	1,384	△11.0

（注）包括利益 2027年2月期中間期 1,252百万円（4.5%） 2026年2月期中間期 1,198百万円（△43.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	6.86	—
2026年2月期中間期	8.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年2月期中間期	48,479	32,877	66.5	201.91
2026年2月期	48,171	32,885	67.0	202.33

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 32,230百万円 2026年2月期 32,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2027年2月期	—	8.00			
2027年2月期（予想）			—	8.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,600	10.8	5,000	6.0	5,040	1.1	2,720	6.1	17.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名)ー

除外 ー社 (社名)ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期中間期	159,630,000株	2026年2月期	159,630,000株
2027年2月期中間期	一株	2026年2月期	24,680株
2027年2月期中間期	159,614,307株	2026年2月期中間期	159,576,240株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、「添付資料」P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年3月1日～8月31日）の業績は、売上高が352億27百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は20億91百万円（同17.2%減）、経常利益は21億91百万円（同19.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は10億95百万円（同20.9%減）となりました。

売上高は、国内CoCo壺番屋の既存店売上高が堅調に推移したことに加え、海外・国内子会社の事業拡大によって増収となりました。一方、利益面につきましては、米を始めとする食材仕入価格の上昇や物流費等の増加などにより、各利益ともに減益となりました。

当中間連結会計期間における分野別の取り組み状況は以下のとおりであります。

(国内CoCo壺番屋)

直営店とフランチャイズ加盟店（以下、FC店という）を合計したグループ全体の店舗売上高は、全店ベースでは476億83百万円（前年同期比2.9%増）となり、既存店ベースでは前年同期比2.4%増となりました。

客数につきましては、既存店ベースで前年同期並みの水準となりました。主な営業施策として、ホロライブプロダクションに所属する人気VTuberや、初の映画化で大きな注目を集めた「映画ちいかわ 人魚の島のひみつ」とのコラボレーション企画を開催し、オリジナルメニューの提供や限定グッズのプレゼントを実施したことなどから、幅広い層のお客様の来店につながりました。

また、客単価につきましては、コラボレーション企画による押し上げ効果に加え、比較的単価の高い「チキンと夏ベジのスパイスカレー」や「焙煎スパイスのチキンカレー」など、季節感やスパイスにこだわった期間・数量限定メニューを販売したことなどから、前年同期比2.5%増となりました。

また、出退店の状況につきましては、新規出店が2店舗、退店が2店舗あり、店舗数は前期末と同数の1,205店舗となりました。

(海外事業)

全店ベースの店舗売上高は103億61百万円（前年同期比14.6%増）となりました。台湾や中国等が好調に推移したことなどから、為替の影響を除いた既存店ベースでは、前年同期比1.1%増となりました。

出退店の状況につきましては、新規出店が11店舗、不採算店舗の撤退等により9店舗の退店があったことから、店舗数は前期末から2店舗増加し、220店舗となりました。

なお、本年3月に、メジャーリーグに所属する「サンディエゴ・パドレス」のホームスタジアム内に「Petco Park（ペトコ・パーク）店」をオープンいたしました。スタジアムに来院したお客様からもご好評いただいております。現地におけるブランド認知度の向上に加え、周辺店舗への来店促進にもつながっております。

(国内子会社事業)

各業態において新規出店による事業拡大が進んだことなどにより、全店ベースの店舗売上高は33億80百万円（前年同期比62.8%増）となり、店舗数は、前期末から8店舗増加し、58店舗となりました。

業態名	事業概要	店舗数
旭川成吉思汗 大黒屋	ジンギスカン店の運営	11店舗
麵屋たけ井	つけ麺・ラーメン店の運営 ※CoCo壺番屋のFCオーナーによる3店舗目の出店となる彦根店（2026年5月）をオープン	15店舗
博多もつ鍋 前田屋	もつ鍋店の運営 ※みずほPayPayドーム店（2026年3月）、渋谷店（2026年7月）をオープン	11店舗
らーめん小僧等	ラーメン店の運営 ※名古屋駅近くのエスカ地下街に「小僧中華そば店」（2026年3月）をオープン	7店舗
パフェテリア パル等	札幌発祥の文化である「夜パフェ」専門店を運営	9店舗
旧ヤム邸	スパイスカレー店の運営 ※2026年3月に株式取得	5店舗
合計		58店舗

(外販事業)

当社は、食品メーカーや小売業者との菓子類・インスタント食品等の共同開発ならびにオリジナルカレーの製造を行う「外販ビジネス事業」と、自社ECサイトなどにてレトルトカレーやギフトセット等を販売する「ECビジネス事業」を展開しております。

当中間連結会計期間では、外販ビジネス事業において他社とのコラボレーション企画117点が発売されたことや、ECビジネス事業において、Amazon、楽天、Yahoo!ショッピングでの取り扱い量が増加したことなどから、売上高は2億82百万円（前年同期比42.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は484億79百万円となり、前連結会計年度末比3億8百万円増加いたしました。このうち流動資産は202億60百万円となり、前連結会計年度末比3億14百万円増加いたしました。これは主に売掛金が9億47百万円増加したこと等によるものであります。また固定資産は282億18百万円となり、前連結会計年度末比6百万円減少いたしました。これは主にリース資産が1億56百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は156億2百万円となり、前連結会計年度末比3億16百万円増加いたしました。これは主に買掛金が6億34百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は328億77百万円となり、前連結会計年度末比8百万円減少し、自己資本比率は前連結会計年度末の67.0%から66.5%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8億21百万円減少し、122億27百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、23億27百万円(前年同期は25億67百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益18億72百万円の計上、減価償却費10億55百万円、減損損失3億14百万円の非現金支出費用があった一方で、法人税等の支払額6億7百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、17億7百万円(前年同期は17億80百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12億58百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1億86百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、15億56百万円(前年同期は14億60百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額12億75百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月6日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,279	12,462
売掛金	3,860	4,808
商品及び製品	1,048	1,062
仕掛品	43	60
原材料及び貯蔵品	328	369
その他	1,385	1,498
流動資産合計	19,945	20,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,382	7,260
機械装置及び運搬具（純額）	861	913
土地	5,112	5,112
リース資産（純額）	1,506	1,350
その他（純額）	1,219	1,356
有形固定資産合計	16,082	15,993
無形固定資産		
のれん	3,273	3,317
その他	1,987	1,914
無形固定資産合計	5,260	5,232
投資その他の資産		
投資有価証券	605	579
繰延税金資産	1,234	1,274
差入保証金	4,617	4,706
その他	430	442
貸倒引当金	△6	△10
投資その他の資産合計	6,882	6,992
固定資産合計	28,225	28,218
資産合計	48,171	48,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,014	3,648
1年内返済予定の長期借入金	51	37
未払金	2,711	2,254
未払法人税等	696	867
賞与引当金	426	430
株主優待引当金	308	333
その他	1,248	1,376
流動負債合計	8,457	8,947
固定負債		
長期借入金	173	101
リース債務	1,209	1,049
退職給付に係る負債	1,045	1,083
資産除去債務	671	689
長期預り保証金	3,394	3,385
その他	333	344
固定負債合計	6,828	6,654
負債合計	15,285	15,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503	1,503
資本剰余金	1,388	1,388
利益剰余金	27,850	27,665
自己株式	△25	—
株主資本合計	30,716	30,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	195
為替換算調整勘定	1,229	1,371
退職給付に係る調整累計額	133	106
その他の包括利益累計額合計	1,576	1,673
非支配株主持分	592	646
純資産合計	32,885	32,877
負債純資産合計	48,171	48,479

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	32,018	35,227
売上原価	16,054	17,863
売上総利益	15,963	17,364
販売費及び一般管理費	13,436	15,272
営業利益	2,526	2,091
営業外収益		
受取利息及び配当金	62	16
受取家賃	455	446
その他	131	93
営業外収益合計	649	556
営業外費用		
支払利息	35	34
賃貸費用	354	344
その他	76	77
営業外費用合計	467	455
経常利益	2,708	2,191
特別利益		
固定資産売却益	4	—
店舗売却益	14	2
特別利益合計	19	2
特別損失		
固定資産除却損	246	4
減損損失	335	314
その他	2	2
特別損失合計	584	321
税金等調整前中間純利益	2,143	1,872
法人税、住民税及び事業税	827	770
法人税等調整額	△82	△33
法人税等合計	745	737
中間純利益	1,398	1,135
非支配株主に帰属する中間純利益	13	39
親会社株主に帰属する中間純利益	1,384	1,095

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	1,398	1,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	△17
為替換算調整勘定	△211	161
退職給付に係る調整額	△11	△26
その他の包括利益合計	△199	117
中間包括利益	1,198	1,252
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,210	1,193
非支配株主に係る中間包括利益	△11	59

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,143	1,872
減価償却費	986	1,055
減損損失	335	314
のれん償却額	145	225
賞与引当金の増減額(△は減少)	△64	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7	0
株主優待引当金の増減額(△は減少)	48	24
受取利息及び受取配当金	△62	△16
支払利息	35	34
固定資産売却損益(△は益)	△4	2
店舗売却損益(△は益)	△14	△2
固定資産除却損	246	4
売上債権の増減額(△は増加)	△711	△928
棚卸資産の増減額(△は増加)	△155	△65
仕入債務の増減額(△は減少)	328	617
未払消費税等の増減額(△は減少)	161	89
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△3	△9
その他	△104	△269
小計	3,317	2,952
利息及び配当金の受取額	62	16
利息の支払額	△35	△34
法人税等の支払額	△776	△607
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,567	2,327
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△205	△226
定期預金の払戻による収入	204	225
有形固定資産の取得による支出	△1,480	△1,258
無形固定資産の取得による支出	△278	△163
長期貸付けによる支出	—	△100
店舗売却による収入	32	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△186
関係会社株式の取得による支出	△44	—
その他	△9	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,780	△1,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△86
短期借入金の返済による支出	△7	—
リース債務の返済による支出	△167	△183
配当金の支払額	△1,275	△1,275
その他	△9	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,460	△1,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	115
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△802	△821
現金及び現金同等物の期首残高	15,264	13,048
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,461	12,227

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）及び当中間連結会計期間（自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

国内外の店舗売上高及び出店の状況

①「国内カレーハウスCoCo壺番屋売上高」(前年同期比増減率)

(単位：%)

	第1四半期 (2026年3～5月)	第2四半期 (2026年6月～8月)	中間期 (2026年3月～8月)
全店売上高	3.1	2.7	2.9
既存店売上高	2.5	2.4	2.4
客数	0.5	△0.5	0.0
客単価	1.9	3.0	2.5

(注) 店舗売上高は、直営店とFC店の売上高を合計したものであります。

②「海外国別カレーハウスCoCo壺番屋売上高」(前年同期比増減率)

(単位：%)

	第1四半期	第2四半期	中間期
全店売上高	5.3	4.4	4.9
既存店売上高	2.0	0.2	1.1
連結子会社計	0.9	2.2	1.5
中 国	1.2	5.3	3.2
イギリス	4.0	△2.4	0.8
台 湾	1.9	5.2	3.6
アメリカ本土	△2.3	△0.2	△1.2
香 港	4.4	△0.5	1.9
FC展開エリア計	3.2	△1.8	0.6
タ イ	4.8	△0.3	2.2
韓 国	△2.8	△4.0	△3.5
その他FC展開エリア計	5.8	△1.4	1.9

(注) 1. 連結子会社は、該当会計期間である2026年1月～6月の実績であります。

2. その他FC展開エリアは以下の国々であります。

インド、アメリカ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、中国、ベトナム
(※アメリカと中国は、当社連結子会社の他にFCによる展開も行っております。)

3. 算出にあたっては、為替の影響を除き計算しております。

③「カレーハウスCoCo壺番屋既存店売上高の予想値との比較」(前年同期比増減率)

(単位：%)

		第1四半期	第2四半期	中間期
国内店舗	予想値	2.6	3.3	2.9
	実績値	2.5	2.4	2.4
	差異	△0.1	△0.9	△0.5
海外店舗	予想値	0.1	0.2	0.2
	実績値	2.0	0.2	1.1
	差異	1.9	0.0	0.9

(注) 予想値は2026年4月6日付の決算短信で公表いたしました当期の業績予想の試算にあたって設定した数値であります。

④「国内業態別出店状況」

(単位：店)

会社名	展開ブランド	新規出店数		退店数		純増店舗数		2026年8月末 店舗数	
			内、直営		内、直営		内、直営		内、直営
(株)壺番屋	CoCo壺番屋	2	1	2	0	0	2	1,205	120
	パスタ・デ・ココ	—	—	—	—	—	—	28	3
	その他	—	—	—	—	—	—	2	2
小 計		2	1	2	0	0	2	1,235	125
(株)大黒商事	旭川成吉思汗 大黒屋	—	—	—	—	—	—	11	8
(株)竹井	麺屋たけ井	1	0	—	—	1	0	15	12
(株)LFD JAPAN	博多もつ鍋 前田屋	2	2	—	—	2	2	11	11
(株)KOZOU	らーめん小僧等	1	1	1	1	0	0	7	7
(株)GAKU	パフエテリア パル等	—	—	—	—	—	1	9	9
(株)me	旧ヤム邸	—	—	—	—	5	4	5	4
小 計		4	3	1	1	8	7	58	51
合 計		6	4	3	1	8	9	1,293	176

- (注) 1. CoCo壺番屋では、FC店から直営店への譲受を1店舗実施いたしました。
2. 旭川成吉思汗 大黒屋では、(株)壺番屋の子会社である(株)ITEカンパニーがフランチャイジーとして3店舗を経営しております。
3. 麺屋たけ井では、CoCo壺番屋のFCオーナーがフランチャイジーとして3店舗を経営しております。
4. (株)GAKUにおいて、FC店から直営店への譲受を1店舗実施いたしました。
5. 2026年3月に(株)meが運営するスパイスカレー店「旧ヤム邸」を5店舗(直営店4店舗、FC店1店舗)取得しております。
6. 対象期間は、2026年3月～8月の実績であります。

⑤「海外国別出店状況」

(単位：店)

		新規出店数	退店数	純増店舗数	2026年8月末 店舗数
連結 子会社	中 国	3	1	2	27
	イギリス	-	-	-	2
	台 湾	4	1	3	46
	アメリカ本土	1	-	1	8
	香 港	-	-	-	9
	小 計	8	2	6	92
F C 展開 エリア	インド	1	1	0	2
	タ イ	-	3	△3	42
	韓 国	1	1	0	40
	アメリカ本土	-	-	-	1
	ハワイ	-	-	-	3
	グアム	-	-	-	1
	シンガポール	-	-	-	5
	インドネシア	-	1	△1	10
	フィリピン	-	-	-	18
	中 国	-	-	-	1
	ベトナム	1	1	0	5
	小 計	3	7	△4	128
合 計		11	9	2	220

(注) 1. 対象期間は、各国・エリアとも2026年3月～8月の実績であります。

2. 台湾の8月末店舗数には大黒屋1店舗を含み、それ以外はCoCo壺番屋であります。